

西上州最奥 大岩峰と森林に囲まれた寂峰
諏訪山

実施日 2018年6月17日(日)
 天候 曇り
 リーダー 峯川 弘子
 参加者 白石恵美子、中村友子、小名秀
 鋭、佐藤政司、瀧澤きよの、山
 田千恵子、峯川弘子 計7名
 費用 JR3,888円(新宿⇄高崎)
 レンタカー 2,000円/人
 タイム 高崎駅 車(8:00-9:15) 浜平登
 山口(9:30-11:10) 湯ノ沢の
 頭(11:15-11:52) 避難小屋跡
 (11:55-昼食-12:55) ヤツウ
 チグラ(13:10-13:30) 諏訪山
 山頂(13:45-14:10) ヤツウチ
 グラ(14:20-15:45) 湯ノ沢
 の頭(15:50-17:15) 浜平登
 山口 車 高崎駅西口18:30 解散

二転三転の梅雨空で17日にスライ
 ドしたものの、増水時危険という浜
 平コース、檜原口に変更するか迷っ
 ていたところ、Kさんから上野村へ
 問い合わせると雨が続いていないの
 で渡渉は大丈夫でしょうとの連絡を
 受け安心し、高崎駅からレンタカー
 で出発、登山をやっているというニ
 チレンのお兄さんに行き先を聞かれ
 諏訪山、浜平しおじの湯と言っても
 聞いたことがないと言う、上野村と
 言うピンときたようだ。

高速を走り浜平の林道で少し迷い
 ながらも1時間10分ほどで登山口に
 到着、天気のおかげ日曜日なのに車
 が一台？今日はメンバー全員山頂を
 踏んだことがない未知の山、ワクワ
 ク??



川に向かって鳥
 居を抜けると川
 向こうに集落が
 ある。「諏訪山
 登山口」の看板
 を見ただけでな

ぜかホッとして歩き出す、始めは川沿
 いの苔むした登山道、所々に滝があら
 われしっとりとしたいい風景だ。

20分ほど歩くと道が崩れている、
 え？ロープがあるからここを行け？
 どうやって渡るか皆であ〜だ、こ〜
 だ言いながらも結局それぞれ自分が



渡れると思う
 ところを選ん
 で無事通過(笑)
 その後はすべ
 りそうな苔む
 した古い木の
 階段やこわれ

てそうな橋が連続する、やはり訪れ
 る登山者は多くないのかな？日差し
 は全くないけど蒸し暑い、最初の渡
 渉が現れた、向こう側にはしっかり

リボンが付いてい
 る、川幅は狭く足
 首までの水量はな
 い、滑りそうな石
 を避けて渡り傾斜
 を登る、また渡渉、
 傾斜を登る、6~7回
 繰り返し川から離れ
 るとこれまでより傾



斜が急になった。水の音が聞こえな
 くなるだけでさらに暑さを感じる。

樹林帯の急登のつづら折りをハァ
 ハァ、「日差しなくて良かったー」「炎
 天下じゃ倒れるー」時々、風が流れ
 ると歓声があがる。足を止め過ぎる
 と疲れるので少しの立ち休憩で息を
 整え登山口から1時間40分程で「湯
 ノ沢の頭」尾根に上がりこんだ！

水分補給ともぐもぐタイム、ここ
 から避難小屋跡までは傾斜は少しゆ
 るやか、風も通り息を吹き返したよ
 うに進む。

尾根沿いからうっすらとガスが上

がり始め視界が悪い、諏訪山の神様、眺望はあきらめますのでどうか雨だけは～

勝手なお願いをしながら進み、地図をみると避難小屋跡はもうすぐ、その前に全員座れそうな場所でランチタイム、ようやく腰をおろす。

いつもながらメンバーのおいしいおかず「は～い、〇〇さんからです！」声は元気でも次に回すのに座り込んだまま手だけを伸ばしてる自分がいた、疲れてるー(笑)

ここから三笠山は近い、すぐに最初のハシゴがあらわれた、ロープのある根っこに登り下りを繰り返して30分ほどで三笠山山頂へ到着、全員で喜ぶもガスで360



度見事眺望ゼロ～(泣「登れただけでいいわよ～」「雨降られないだけいいよ」「リーダーお疲れ！」皆様の優しいお言葉で癒されました！！全員で写真を撮りいざ諏訪山へ。下っていくとすぐに



鎖場に出た、ここが前情報の核心部？短いが下りなので慎重に、ホールドもあり鎖を使わずに降りられる。さらに細尾根、少しのゴロゴロガレガレ、根っこ道を登り返し樹林帯を進むとその先にひっそりと「諏訪山山頂」の標識が、やったー、待たせたな、山頂わっしょーい！！

次々と来るメンバーでハイタッチ！前情報通り樹林に囲まれ眺望のない山頂だけど(あってもこのガスじゃ

見えないって)

達成感でみんな笑顔になる。

今日は下山するお兄さん一人とすれ違っただけでこぶし会貸し切り、なんと贅沢な～。

セルフタイマーで写真撮影をし、しばし眺望のない山頂を楽しんで下山開始。



下山も同じ道で気は抜けな

い、鎖場を登り返し再び三笠山、ただいまー、やはり眺望なし(泣)

気を取り直しハシゴを下る、さらにガスが濃くなってきた。

途中、色褪せたりボンを見逃し登ってきたはずの道なのにコースを少し外した。(すみませーん！)

滑りやすい道とまたまた渡渉、崩落



箇所を慎重に通過して無事登山口に到着、17:05。

低山ながら下りも時間がかかる、昭文社の諏訪山のコースタイムは少し厳しめ??

皆様、本当にありがとうございました！！

あとがき：初めて訪れた上野村、

運転途中「慰霊の園」という標識を見て、道路の整備もされてい

なかったと思われるこんな奥深い山域で起きた出来事を思い出さずにはいられませんでした。。。



(記&写真・峯川 弘子)